

日 付	令和3年11月26日
担当所属	山梨県立農林高等学校
担当者名	教諭 坂本 篤
連絡先	055-276-2611 (内線148)

## 農林高校 フランス式庭園 東屋の建立実習の実施について

### 1 経緯と目的(生徒の課題研究の目的より)

- 令和元年の台風19号災害により、農林高校のシンボルであるフランス式庭園にあった東屋がヒマヤスギの倒木で大破してしまうという非常に残念なことがありました。私たちプロジェクト班は、農林高校の歴史を後世に残すために、令和2年度の先輩方から引き継いで東屋の再建に取り組んでいます。
- 昨年度の先輩方は、東屋が建っていた塚の調査と整地をして土間コンクリートを打ちました。塚になる程の大量のゴロタ石に疑問を持った私たちは、本校の大先輩である古郡校長先生にお話を伺いました。すると「本校の敷地は元々は河原で農林高校が移転する前は飛行場だった」、「本校の先輩方はこの地へ移転してから開墾のため整備した。その時に出土したゴロタ石を拾って集めた場所が塚になって現在も残っている」、「この塚は開墾の苦労を象徴する大切な場所として残すために、塚を土台に東屋が建てられたのではないか」とのことでした。
- 今年度、先輩方のデザインを参考に、東屋の制作を「木の国サイト」さんへ依頼し、県産ヒノキで建材を加工していただきました。10/29(金)までに自分たちで基礎工事を終え、11/12(金)から木の国サイトで加工いただいた建材に防腐剤を塗布するなど準備し、12/10(金)に木の国サイトの大工さんの指導を受けながらの建前実習に臨みます。建前後は、東京2020オリンピック・パラリンピック選手村で使用された「県有林材」の提供を受け、ベンチ等の作成へ取り組んでいく予定です。

2 日 時 令和3年12月10日(金) 8:55~11:45

3 参加生徒 農林高校造園緑地科3年 課題研究班(8名)

4 場 所 農林高校フランス式庭園(黎明文化創造館の向かい側)

5 内 容 東屋の建前実習。木の国サイトの大工さんご指導の下、建材(組み立て)実習を行う。

6 実施主体および関係機関 造園緑地科3年「課題研究」、  
木の国サイト 山梨県木材製品流通センター協同組合

